

令和元年6月7日

関西電力株式会社の株主の皆様

大阪市長 松井 一郎

関西電力株式会社第95回定時株主総会における大阪市提案への御賛同のお願い

拝啓 立夏の候、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は大阪市政に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故からはや8年が経過しておりますが、依然として被災地では懸命な復旧・復興に取り組まれている状況にあります。原子力発電所においてひとたび重大事故が発生した場合、その被害が回復不可能なほど甚大なものになることが明らかとなっただけでなく、使用済み核燃料の処理体制が未だ確立していないことも考え合わせますと、我が国のエネルギー需給のあり方を根本的に見直し、原子力発電への依存から脱却する必要があると考えております。

また、多様なエネルギー源の導入を促進し、供給力の向上と電気料金の安定化を図る必要があることから、国では広域的運営推進機関を設立し、電力小売を全面自由化するとともに、最終段階である送配電部門の分離に向けた法制度や公平・公正な競争環境の整備が進められているところです。

こうした状況を踏まえ、本市は関西電力株式会社に対して、原子力発電から多様なエネルギー源への転換をはじめ、発送電分離に向けた事業形態の革新、さらには徹底したコスト削減や経営の透明性確保、脱原発と安全性の確保などを求めて、来る令和元年6月21日に開催されます同社の第95回定時株主総会におきまして、別紙の内容を議題とするよう8項目の株主提案を行いました。

これらの提案が実現することは、同社にとっても中長期的な観点からの経営体質の強化・安定化につながるものであり、株主価値の維持・拡大にも資するものと考えております。

以上の趣旨に御理解をいただきますとともに、本市提案に御賛同を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具